

令和 6 年度 県立下妻第一高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	各重点目標において高い評価であり、各先生方が自信をもって教育されている様子を窺うことができる。 重点目標を達成していることを主に伝えることも大切だが、達成できていない部分についての説明も必要と思う。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	昨年度の課題を把握し(光プロジェクトへの対応)、改善に向けた取組を実施し、成果に結びつけている。 アンケートについては、YES NO で答えられる文章であることも必要だが、少数のマイナスの返答について掘り下げる機会も必要。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	☒ A 十分把握している B おおむね把握している C あまり把握していない D 把握していない	各項目で課題が把握できている。 理科の評価がやや厳しいと思われる。他教科との関連で、具体的目標についても検討してもよいと思われる。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	☒ A 適切である B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない	自己評価を基に課題を洗い出し、次年度への改善策が図られている。 「情報」が共通テストに入ってきたので、本年度の分析をして対策を練る必要がある。
5. 各教科における自己評価は適切か。	☒ A 適切である B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない	各教科ともに、重点目標と照らし合わせて、適切に自己評価している。 英語科の評価において、各項目の評価を考えると、総合評価は「A」でよいのではと思われる。

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。